

「ワーク3 まとめ」の場面で・・・

【家で約束やルールを作るとき】

- ・ 何のための約束やルールなのかを家族全員で共通理解する。
- ・ 大人が社会的・道徳的な判断から約束やルールを設けるときは、子どもが納得するよう理由等を説明する。
- ・ 子どもと一緒に約束やルールを考えてもよい内容については、実生活において守れるものとなるようにしっかり話し合って家族全員が納得して決める。（子どもの思いをしっかり受けとめる。しかし、子どもの言いなりにはならない。親としては、折り合いの付け方がポイント。）

【約束やルールを大切に思い守っていけるように・・・】

- ・ 「なぜ、この約束やルールが必要なのか。無いとどのようなことが想定されるか。」について、機会を捉えながら子どもとともに考え、話し合う機会を日常的かつ意図的にもち、約束やルールを尊重する態度を養う。
- ・ 子どもが約束やルールを尊重する姿を見かけたら、その都度、称揚したり認めたりすることで、子どもが、そのよさを実感することができるようにする。
- ・ 保護者が約束やルールを守る手本を示す。
- ・ もし、約束やルールを破ってしまったら…
 - ① 子どもの気持ちを把握した上で、保護者としての思いを毅然とした態度で伝える。
友達が関係する場合は、友達のせいにして逃げるのではなく、まずは、子どもが自身のことを振り返り、見つめ直すことができるようにする。（保護者も同様。）場合によっては、学校や友達の家庭との連携も必要となるので、日頃からのつながりを大切に。
 - ② 友達が関係する場合は、善悪を正しく判断し、断る勇気をもつことの大切さを伝えるだけでなく、そのスキルについても指導する。
 - ③ 怒りっぱなしで終わるのではなく、最終的には、子どもが明るい展望をもって生活できるような手立てやフォローも忘れずに。
 - ④ もし、似たようなことを繰り返しても、子どもを信じて粘り強く指導を続ける。（失敗を繰り返しながら子どもは成長していきます。気長に取り組みましょう。）
- ・ 家族内で弾力的に決めることができる約束やルールでなかなか守れないものについては、時には再度、家族会議をもって実行可能な内容にマイナーチェンジさせていくことも大切。しかし、変更が当たり前という感覚にならないよう、決めた以上は徹底させていく家庭内の雰囲気づくりも必要。
- ・ 「子どもの規範意識を育てる基盤は家庭にあり」という認識の下、家庭における風土づくりや人間（親子）関係づくりに留意する。
- ・ 一人で悩まず家族に相談。それでも難しいなら相談機関等へ。

※ ファシリテーターの方が記述内容を全て読み上げる資料ではありません。あくまでも参考資料です。取捨選択してご活用ください。